

## 現行計画（久慈地域編）重点課題の取組状況と課題について（概要）

項目名	これまで(H30~R5)の主な取組	関連データ(久慈地域編)	現状・課題
(1) 高齢化社会に対応した地域医療体制の構築	①地域包括ケアシステムの構築 (地域包括ケア病棟(県立久慈病院)の設置、在宅医療研修会等の開催など)  ②介護予防の推進 (久慈地域リハビリテーション広域支援センター事業(県立久慈病院)、いきいき百歳体操の継続支援と普及啓発(市町村)、市民講座の開催など)  ③認知症医療体制の構築 (認知症疾患医療センター(北リアス病院)による相談・支援、市町村の認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期対応(北リアス病院が支援)など)	・高齢化率 H29 : 34.0% (県平均 31.9%) R4 : 38.8% (県平均 34.8%)  ・認知症高齢者(日常生活自立度Ⅱ以上)の数 H29.3 : 2,165人 R3.3 : 2,532人 <b>【県全体】</b> H29.3 : 46,375人 R3.3 : 49,673人  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             ※参考              要介護(要支援)認定率              (久慈地域)              H29 : 18.4%              R2 : 18.6%              (県平均)              H29 : 19.1%              R2 : 19.3%           </div>	①地域包括ケアシステムの構築 ○団塊世代が後期高齢者になり、認知症高齢者等、医療・介護の双方のケアが必要な高齢者が増加 ○高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていることができるよう、地域包括ケアシステムの更なる深化・推進が必要 <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>【照会時御意見】</b>            ・医師の高齢化及び医療機関の減少が課題            ・広域支援センター事業について、事業の実施、調整機能は行政で行い、病院は医療スタッフの派遣に機能分担した方が良いのではないかと            ・在宅医療を担う医師、看護師ほか関係職種の確保、また、訪問診療・訪問看護を担う事業主体の機能充実ほか連携体制の構築         </div> ②介護予防の推進 ○要介護状態となる主な原因である、骨折・転倒や認知症、脳血管障害等を予防し、健康寿命を延ばすことが必要  ③認知症医療体制の構築 ○鑑別診断や適切な医療を受けられる体制、認知症の正しい知識や早期対応の必要性の周知が必要

項目名	これまで(H30~R5)の主な取組	関連データ(久慈地域編)	現状・課題
(2) 生活習慣病の予防及び医療	<p>①生活習慣病の予防・発見・治療 (食生活改善推進員との協働による望ましい食習慣の普及啓発、運動の習慣化・定着化の普及啓発、生活習慣病対策予防講演会の開催など)</p> <p>②脳卒中及び心疾患の予防・治療 (心肺蘇生法講習会の開催やイベント等へのAED実動機及びAED訓練機の貸出し、循環器病等予防緊急対策食生活キャンペーン事業の実施など)</p> <p>③健診受診率の向上、がん検診の推進 (健診受診勧奨、健診結果説明会の開催、特定健診受診しやすい環境の整備(特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等)など)</p>	<p>心疾患や脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)</p> <p>○H27 【心疾患】久慈:76.6 (県平均57.7) 【脳血管疾患】久慈:49.6 (県平均39.6)</p> <p>○R2 【心疾患】久慈:66.4 (県平均49.0) 【脳血管疾患】久慈:42.9 (県平均37.3)</p>	<p>①生活習慣病の予防・発見・治療</p> <p>○久慈医療圏は、心疾患、脳血管疾患の年齢調整死亡率が県平均より高い水準</p> <p>○減塩や禁煙・分煙等の推進、健康教室など一次・二次予防の推進による生活習慣病の発生予防が必要</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【照会時御意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題:医師の高齢化及び医療機関の減少により、開業医で診察不可な診療科がある。</li> <li>・予防に関して、行政機関からの積極的な発信が必要ではないか。</li> </ul> </div> <p>②脳卒中及び心疾患の予防・治療</p> <p>○心疾患発症直後の救急要請、現場での心肺蘇生やAEDの活用、施設間での画像情報等の共有、搬送、救命措置の切れ目ない連携が必要</p> <p>③健診受診率の向上、がん検診の推進</p> <p>○検診受診率向上等による疾病の早期発見、早期治療の推進が必要</p>

項目名	これまで(H30~R5)の主な取組	関連データ(久慈地域編)	現状・課題
<p>(3) 医療従事者の確保及び多職種連携の推進</p>	<p>①医療従事者の養成、地域医療を支える取組の推進 (奨学金事業、中学生対象の医師による出前講座、医療現場体験の実施、医師や看護師等の負担軽減など働き方改革など)</p> <p>②周産期医療への対応 (母子保健型利用者支援事業(子育て世代包括支援センターでの相談)、久慈地域母子保健医療連絡会(困難ケース等の情報交換、地域課題等の協議、支援の確認等)、妊産婦への支援(妊産婦健康診査交通費助成等)など)</p> <p>③医療と介護の情報共有 (北三陸ネットによる医療機関、介護事業所、地域包括支援センター間での医療・介護の情報共有及び相互連携)</p>	<p>○久慈保健医療圏の医療機関に勤務する医師数 H26: 101.2人 (人口10万対170.9人) R2: 95.2人 (人口10万対182.5人)</p> <p>○病院・診療所別医師数 【H26】 ・病院常勤換算 65.8人 (人口10万対:111.1人) ・診療所常勤換算 35.4人 (同 59.8人) 【R2】 ・病院常勤換算 68.9人 (人口10万対:132.1人) ・診療所常勤換算 26.3人 (同: 50.4人)</p> <p>○久慈保健医療圏の医療機関に勤務する看護師・准看護師数 H26: 424.2人 (人口10万対:716.3人) R4: 453.2人 (同: 868.6人)</p> <p>○産婦人科の圏域内医師 H29: 2名 R4: 2名</p>	<p>①医療従事者の養成、地域医療を支える取組等) ○人口10万対の医師数は9圏域中9位、看護師・准看護師数は8位に相当し、医療従事者の確保が課題</p> <p>【照会時御意見】 久慈管内の医療従事者の減少(人口減少)が課題</p> <p>②周産期医療への対応 ○特に産婦人科の医師不足が課題。圏域内の分娩取扱いが県立久慈病院のみで、ハイリスク妊産婦の分娩に係る隣接圏域との連携が重要</p> <p>③医療と介護の情報共有 ○入院医療機関とかかりつけ医、介護事業所等の円滑な連携、入退院の調整、更なる情報共有・相互連携が重要</p>